

## 16港湾春闘情報(7)

### 1. 各単組の取り組み状況について(5月10日現在)概ね終息に向かっている

- (1) 全港湾
- ① 基本給一律20,000円の獲得をめざし、2月26日までに要求書を提出、スト権の確立を行った。第1回回答指定日(3月25日)の回答は3,275円(昨年比1,087円減)と厳しい回答状況となった。闘争分会の回答状況は、329分会中70分会(21%)に有額回答が示された。
  - ② 4月8日現在の回答状況、144分会中92分会(64%)に有額回答が示され、回答平均は3,535円、率で1.2%であった。(昨年回答平均額は4,087円、妥結平均は4,092円)
  - ③ 4月16日9時現在の回答状況、329分会中198分会(60%)に有額回答が示され、回答平均額は、3,871円、率で1.43%(昨年比388円減)そのうち妥結分会62分会(31%)で妥結平均額は、4,435円となっている。
  - ④ 4月28日現在の回答状況、329分会中258分会(78%)に有額回答が示され、回答平均額は、3,538円、率で1.27%(昨年比329円減)そのうち妥結分会218分会(84%)で妥結平均額は、3,711円となっている。
- (2) 日港労連
- ① 基準内月額20,000円を要求、制度賃金6%引き上げ(基準内として)。定期昇給制度8,000円とする。2月2日に第1回港荷交渉を開催、主旨説明を行った。スト権委譲は2月26日に行った。
  - ② 3月24日に開催した第1回港荷団交(4回目交渉)で、基準内定昇込1,500円を回答。労側は不満として返上、4月9日~11日72時間ストを通告した。
  - ③ 4月6日に第4回港荷団交(通算7回目交渉)で、基準内3,000円が提示され、妥結した。
  - ④ 関連交渉は、4月13~14日に再三の交渉を重ね、14日15時35分に基準内1,700円+基準外年額3,000円で妥結した。
- (3) 検数労連
- ① 基本給一律20,000円要求。2月4日に要求書を提出し、趣旨説明を行った。2月18日に第2回労連団交を開催し、両協会に「基礎数字」「長時間労働実態」の報告を求めた。
  - ② 3月22日に第4回労連交渉を開催、有額回答について、今日段階では具体的説明ができる状況にないとした。次回28日に有額回答を示すように強く求めた。
  - ③ 4月7日に第6回労連交渉を開催、両協会が有額回答を提示、日検が、2,445円、全日検が、1,200円を提示した。組合は有額回答に対して不満であるとして、さらなる賃金引き上げを求めた。次回開催は4月15日

を予定している。

- ④ 4月15日現在、第7回労連団交開催し、両協会が修正回答を提示した。  
全日検：全国平均 A職 3,015円 B職 2,079円  
日 検：全国平均  $2,445\text{円} + \alpha$  分母 158h → 157hへ  
両協会に対して、「要求額との関係で不満であり、再考を求める」として、次回団交は4月20日(水)10時から開催を確認した。
- ⑤ 4月20日10時から、第8回労連交渉を開催した。全日検が修正回答として、B職平均 2,177円(プラス 98円)を提示した。組合は、修正回答は受け止めるが、港湾相場に未達であり不満を表明した。次回開催は未定。

- (4) 検定労連
- ① 海事検定職組一人平均 16,312円要求、シンケン労組組合員一人平均 14,588円を要求。2月23日に要求書の提出を行った。
  - ② 3月24日に第2回労連団交を開催し、産別制度要求について考え方を質した。分母、定年延長、賃金の6%改定等を求めたが、中央団交の推移をみながら進めたいとした。その後、並行交渉に移行した。
  - ③ 海事職組は、4月7日に第5回交渉を開催したが、一定の考え方が示されただけで、有額回答は提示されていない。来週以降の交渉で詰めていく。
  - ④ 4月15日現在、遅減幅の縮小含めて交渉を繰り返したが、進展せず。18日以降の交渉となった。
  - ⑤ 海事職組は交渉を積み重ねたが、今春闘初期から、まったく前進のない回答に終始していることから、19日に団交決裂を通告、4月27日(木)から18時以降翌朝8時までの無期限時間外拒否を通告した。
  - ⑥ 海事職組は、4月25日に開催した交渉で、「56歳以降の遅減について、「廃止を前提とする協議を行う」としたことから、27日以降のストは解除した。26日の交渉で、56歳以降の遅減緩和 2,000円、28年度限り 1,000円(基準内)、福利厚生を 5,000円増額。賃金は一人平均 2,830円 +  $\alpha$ で妥結した。  
シンケン労組は4月18日に妥結した。組合員一人平均  $3,384\text{円} + \alpha$  と分母を 153 時間に改定した。

- (5) 全倉運
- ① 統一要求書は3月15日(火)提出、統一回答指定日を3月29日(火) 賃上げ要求基準は、 $5\% + \alpha$ で要求。
  - ② 4月8日現在の回答  
単純平均 24組合 4,644円(率で 1.77%) 前年 4,835円 / 1.88%  
加重平均 1,908人 4,688円(率で 1.82%) 前年 4,718円 / 1.84%
  - ③ 4月18日12時現在の回答状況  
単純平均 24組合 4,664円(1.78%) 前年比 171円減

加重平均 1,908 人 4,713 円(1.82%) 前年比 5 円減

④ 5月10日11時現在の回答状況

単純平均 31 組合 4,726 円(1.77%) 前年比 261 円減

加重平均 3,468 人 4,934 円(1.78%) 前年比 19 円増

※夏季一時金回答平均(春夏型 20 単組、年間型 9 単組、夏闇方式 11 単組)

単純平均 13 組合 624,829 円(2,275 カ月)前年比 2,482 円減(0.013 カ月減)

加重平均 1,865 人 703,580 円(2,577 カ月)前年比 2,381 円減(0.005 カ月減)

- (6) 大港労組 基準内月額 20,000 円を要求。2月 23 日(火)に第 1 回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。3月 7 日(月)に第 2 回団交を開催し、1,000 円の有額回答を提示したが、拒否した。第 3 回は 18 日に開催したが進展なし。3月 25 日に第 4 回団交を開催、500 円上積みの、1,500 円を回答したが、受取拒否。決裂し、スト通告を行った。
- 4月 8 日 16 時 45 分に、基準内 3,000 円で妥結。

- (7) 全日通 賃上げ要求は、11,000 円、一時金は、年間 140 万円を要求。2月 15 日に要求書を提出。交渉は毎週金曜日に行い、3月 17 日をやま場とする。
- 3月 17 日(木)妥結
- <妥結内容> ① 賃上げ 4,900 円(内ベア 50 円)  
② 一時金 年間 112 万円(夏 53 万円・冬 59 万円)

## 2. 他団体の賃上げ状況

(1) 連合

4月 26 日発表 平均賃金方式で、5,948 円(2.03%) 昨年同期より、129 円減  
300 人未満の中小労組で、4,558 円(1.87%)

(2) 国民春闇共闇

4月 26 日発表 単純平均で、5,302 円(1.95%) 加重平均で、5,729 円(2.03%)

(3) 経団連

4月 18 日発表 大手企業業種別(加重平均)7,174 円(2.19%)  
昨年実績 大手企業業種別加重平均 8,502 円(2.59%)

以 上